授業科目	地域観光資源開発論					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期
担当教員	池口　功晃						
授業概要	本授業は地域に根差す文化や生産物の観光資源化について学び、新しい切り口で地域の観光資源を生み出す力を養うことを目的としている。具体的には、第 1 回から第 11 回までは地域資源の活用や観光資源開発など、これまで全国でおこなわれてきた取り組みについて学び、これらを参考に第 12 回からは学生自身が特定の地域に焦点を当て、新しい観光資源を立案・発表する。						
授業形態	講義			授業方法			

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 地域資源の観光資源への活用について学ぶ。 2. 地域の特徴を活かした観光資源のありかたについて考える。 地域資源の観光資源化への取り組みについて理解できるようになる。
理想的レベル	地域の課題を発見し、観光資源の開発について具体的な案を示すことができる。

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	50%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	50%	
レポート外の提出物		
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	T031506J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
該当部分の復習	4

授業計画

第 1 回	授業ガイダンス
第 2 回	地域観光資源の意義と活用
第 3 回	地域観光資源開発の主体、DMO とは何か
第 4 回	事例研究１（モノの消費）
第 5 回	事例研究２（コトの消費）
第 6 回	事例研究３　（TDR【東京ディズニーリゾート】の経営戦略）
第 7 回	事例研究４（時空間のプロデュース、物語化）

第 8 回	事例研究５（情報発信、イメージの形成）
第 9 回	事例研究６（地域ブランド）
第 10 回	事例研究７（ダークツーリズム）
第 11 回	事例研究８（インバウンド観光客）
第 12 回	研究発表会 1（A グループ）
第 13 回	研究発表会 2（B グループ）
第 14 回	研究発表会 3（C グループ）
第 15 回	研究発表会 4（D グループ）
テキスト	毎回レジュメを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	大社充『体験交流型ツーリズムの手法　―地域資源を活かす着地型観光―』学芸出版社
課題に対するフィードバックの方法	小テストは採点後、返却する。
学生へのメッセージ・コメント	1. マーケティングの知識が必要であるが、授業においても一部触れる。 2. さまざまな地域の特徴を理解する地理的素養が求められる。 日頃から地域活性化に関する新聞記事やニュースに関心を持つように心がけてください。